

大分県由布市由布院地区における「通り名で道案内」の取り組み

人気の観光地である大分県の由布院には、年間およそ380万人の観光客が訪れる。町の人が地元住民が観光客からよく聞かれることは、「〇〇というお店はどこですか？」に次いで、「ところで私が今居るこの場所はどこ？」であったことから、これまでも、地域独自のマップや案内プレートを作るなど、道案内に対する取り組みが行われてきていましたが、よりわかりやすい道案内を目指すため、H22年10月より、「由布院『通り名』プロジェクト」がスタートし、通り名案の作成やまち歩きによる距離の測定、及び案内プレートのデザインを決定し、平成23年度までに、7路線において、計80枚のプレートを設置し、観光客にわかりやすいまち歩きのサポートに役立てられている。



通り名表示設置位置図

※ 下図をクリックすると拡大図面が表示されます

